

\* 曆採用欄の空欄は防除曆に記載のない薬剤

## うめ登録農薬適用表（殺虫・殺菌）

(R4年11月現在)

用途	毒劇	薬剤名	曆採用	剤型	使用方法	JA採用倍率	倍率	使用時期	使用回数	対象病害虫	成分名
殺菌 殺虫剤		石灰硫黄合剤	○	液剤	散布	10倍	7~10倍 8倍	発芽前		越冬病害虫・カイガラムシ類・ハダニ類・縮葉病 縮葉病	多硫化カルシウム
	殺菌剤		ICボルドー66D	○	水和剤	散布	50倍	50倍	葉芽発芽前まで		かいはよう病
		サルファーソル	○	ソル	散布	500倍	500倍			黒星病	硫黄
		ポリベリン水和剤	○	水和剤	散布	1,000倍	1,000倍	収穫30日前まで	3回	黒星病・すす斑病・灰色かび病	イミノクタジン酢酸塩・ポリオキシソ
		マイコシールド	○	水和剤	散布	1,500倍	1,500倍	収穫21日前まで	4回	かいはよう病	オキシテトラサイクリン
		スコア顆粒水和剤	○	顆粒水和剤	散布	3,000倍	3,000倍	収穫前日まで	3回	黒星病 (2,000~3,000倍) ・すす斑病	ジフェノコナゾール
	オーシャイン水和剤	○	水和剤	散布	3,000倍	3,000倍	収穫前日まで	3回	(黒星病・すす斑病2,000~3,000倍) 灰色かび病・灰星病	オキシボコナゾールフマル塩酸	
殺虫剤	劇	ラビキラー乳剤	○	乳剤	散布	200倍	200倍	落葉後~発芽前 (休眠期)	2回	コスカシバ	※1MEP・PAP
		スプレーオイル	○	乳剤	散布	50倍	30~50倍	発芽前		カイガラムシ類	マシ油
	劇	スブラサイド乳剤40		乳剤	散布		1,500倍	収穫14日前まで	2回	カイガラムシ類	DMTP
	劇	スブラサイド水和剤		水和剤	散布	1,500倍					
		スミチオン乳剤	○	乳剤	散布	1,000倍	1,000倍 1,000~2,000倍	収穫14日前まで	2回	ハマキムシ類・アメリカシロヒトリ アブラムシ類	※1MEP
	劇	モスピラン顆粒水溶剤	○	顆粒水溶剤	散布	4,000倍	2,000~6,000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類 (ケシキスイ類・カイガラムシ類・ノコトガリキリガ2,000倍)	アセタミプリド
		ウララDF	○	ドライフロアブル	散布	4,000倍	2,000~4,000倍	収穫7日前まで	2回	アブラムシ類	フロニカミド
		マラソン乳剤		乳剤	散布		1,000~2,000倍 2,000~3,000倍	収穫7日前まで	5回	ハマキムシ類・カイガラムシ類 アブラムシ類	マラソン
		ダントツ水溶剤	○	水溶剤	散布		2,000~4,000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・ケムシ類・カメムシ類 (ケシキスイ類2,000倍)	クロチアニジン
		フェニックスフロアブル		フロアブル		(200倍)	200倍 4,000倍	開花期まで 収穫前日まで	1回 2回	コスカシバ ケムシ類・コスカシバ・シンクイムシ類・ハマキムシ類	フルベンジアミド
	コルト顆粒水和剤	○	水和剤	散布	2,000倍	2,000~4,000倍 2,000倍	収穫前日まで	3回	アブラムシ類・カイガラムシ類	ピリフルキナゾン	
フェロモン剤		スカシバコンL					40~100本/10a	成虫発生初期~終期		コスカシバ	シナンセルア

※1：MEPを含む農薬の総使用回数は2回以内